

多文化共生をまちの魅力に

最近、外国籍の人とすれ違うことが増えていませんか。ご近所でも、「言葉が通じるかな？」などの不安の声があるかもしれません。近年、本市では仕事や家庭、留学などを通じて、多様な文化や背景を持つ人たちが増加しています。少しの勇気で一歩を踏み出せば、新しい発見や心温まる出会いが待っています。

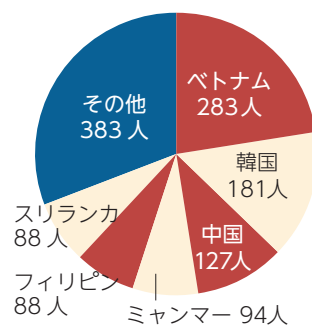
閩文化・スポーツ活性課



在住外国人の現状

3月末現在、外国籍の市民は12,444人、997世帯で、本市の人口の約1・3%にあたります。

市内に住む外国人人口



あいさつは世界共通の魔法

遠くから見ているだけでは分かり合えません。まずは挨拶から。笑顔で「こんにちは」は、相手にとっても、「この地域に受け入れられている」という安心感につながります。

「こんにちは」を世界の言葉で

ベトナム Xin chào
 韓国 안녕하세요
 中国 你好
 ミャンマー မင်္ဂလာပါ

グローバルカフェ

キックスの喫茶コーナーでは、食文化を通じて様々な国や地域の文化を気軽に体験で

きる場を開いています。

※詳細は26ページ参照。

●日本語サロン

外国籍の人が日本語を学習したり、相談、情報交換できる場を開いています。

とき 毎週①火曜の午前、②木曜の夜間、③日曜の午後
 ところ ①キックス、②ノバティホール（ノバティながの南館内）、③千代田公民館
 ※詳細は左記へ。

閩国際交流協会

☎54・0002

心地よく暮らせるまちへ

様々なルーツを持った市民がお互いに心地よく暮らせるよう、「私に何ができるかな」と考えてみる、そんな優しさの積み重ねがまちづくりにつながります。

違いを認め合い、支え合える。豊かで魅力あふれるまちをつくりましょう。

アンケート調査

8月に、外国籍の市民の皆さんを対象に、暮らしの状況などをお伺いするアンケート調査を実施します。

日常生活で感じていることやお困りごとなど、ご意見をお聞かせください。

やさしい日本語で話してみよう

難しい言葉を少し言い換えるだけで、もっと多くの人にあなたの想いが伝わります。外国籍の人はもちろんのこと、子どもや高齢者にも伝わりやすくなります。

●難しい日本語

集合住宅なので、夜間の騒音には十分ご配慮ください。



●やさしい日本語

夜は静かにしましょう。音が大きいと、隣りの人が困ります。

8歳で来日した当初は、日本語が分からず苦労しましたが、周囲の支えで話せるようになり、今では両方の文化がわかるのが強みと捉えています。地域のイベントや子ども同士の遊びをきっかけに、家族ぐるみで、ご近所さんとの関係が自然と広がっています。でも、ちょっとした行動が「外国人全体の印象につながる」とも考えて、日常の振る舞いに配慮しています。人間関係で大切なのは、何よりあいさつ。話すことで理解が深まると実感しています。



ブラジル出身
レアンドロさん